

様式第14号（第5条関係）

令和 6年 4月 1日

笠岡市長 殿

所在地 笠岡市用之江334

協議会名 城見地区まちづくり協議会

協議会長名 会長 藤井 清二

まちづくり計画策定状況： 策定済み 未策定

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）交付申請書

笠岡市魅力あるまちづくり交付金の交付を受けたいので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 交付申請額 739,000 円

〔内訳〕 (単位：円)

活動No (優先順位)	活動名	インフラ上 限加算対象	申請額
1	いのしし被害対策		356,000
2	防災・安全安心活動		153,000
3	高齢者見守り活動		64,000
4	花いっぱい運動		57,000
5	大見山登山道整備		109,000
			0

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書（様式第15号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書（様式第16号）
- (3) まちづくり計画（地域計画）などの計画書類（既に策定済みの地域のみ）
- (4) その他参考となる書類

様式第15号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	1
活動名	いのしし被害対策

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	住民主体によるいのしし及び害獣による農作物の被害減少を図る。
【効果】	各地区でいのしし駆除グループが組織されることで、地域全体の一体感も深まりいのしし及び害獣の捕獲により被害が減少する。

2 実施期間

令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
 (計画期間 年中 年中)

3 実施場所

城見地区（茂平・用之江・大宜）

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 70 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わる人数： 10 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 60 人（イ）
 ○団体： （団体名） 茂平いのしし駆除グループ， （団体名） 用之江いのしし駆除グループ
 （団体名） 大宜いのしし駆除グループ， （団体名） 各地区自治会（茂平・用之江・大宜）

5 実施内容

広報活動（活動報告4回、決算報告1回）
 捕獲わなの設置とその管理（巡回点検・エサの設置）作業
 捕獲わなの組み立て作業
 捕獲わなの修繕作業
 他地区の駆除グループとの交流と情報・知識交換

6 予算額

356,000 円（うち交付金分 356,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	1
活動名	いのしし被害対策

【収入の部】 (単位：円)

費目	金額	摘要
市交付金	356,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	356,000	

【支出の部】 (単位：円)

費目	金額	摘要
報償費	0	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	356,000	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
	0	〃
	0	〃
計	356,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書 1》

報償費

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
計	0	

旅費

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回=15,400円
計	0	

需用費

内 容	金 額	積 算
記入例) 飲料費	8,000	作業用お茶代100円×20人×4回
飲料費	3,000	会議用お茶代100円×15人×2回
講習会受講料 (新規取得者は除く)		
狩猟者登録	27,000	15人×1,800円
狩猟税	65,600	14人×4,100円+1人+8,200円
わな保険	75,000	15人×5,000円

《収支予算内訳書2》

需用費

内 容	金 額	積 算
(用之江)		
受信機	7,150	1台×7,150円
発信機 (10台セット)	48,620	1セット×48,620円
発信機用マグネット	3,740	20個×187円
ワイヤー 4mmメッキ100m	8,800	1巻×8,800円
(茂平)		
受信機	14,300	2台×7,150円
発信機 (10台セット)	48,620	1セット×48,620円
黒ワイヤー 4m×5巻	1,100	1セット×1,100円
発信機用マグネット	1,870	10個×187円
乾電池 単三12本パック	3,756	6パック×626
(大冨)		
発信機3台+受信機1台セット	43,560	2セット×21,780円
乾電池 単三12本パック	3,756	6パック×626
計	356,000	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

《収支予算内訳書3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハンディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。

様式第15号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	2
活動名	防災・安全安心活動

1 目的、活動実施により期待される効果

目的	防災活動を通じ、地区住民個々の防災意識の向上知識の浸透を図る。 自主防災会や消防団と連携し、防災について学び、自助・共助の力を培う。 通学路の点検パトロール・整備作業及び児童の登下校時見守り活動を通じ通学児童及び生徒の安全を図る。
効果	地区住民個々の防災意識の向上と災害時の対応力を高めることができる。 活動を通じ、住民同士の助け合いの意識が生まれる。 子供及び保護者に安心感を与えることができ、子育て支援ともなる。

2 実施期間

令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
 （計画期間 年中 年目）

3 実施場所

城見地区（用之江・大冨・茂平・城見台）

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 170 人（ア＋イ）
 （内訳）企画運営に関わる人数： 20 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 150 人（イ）
 ○団体： （団体名） 各4地区自治会 ， （団体名） 城見地区青色パトロール隊
 （団体名） 各4地区こども会 ， （団体名） 社協城見支部

5 実施内容

災害避難時において支援を必要とする人に対する体制づくりをする。
 通学路の点検パトロール・整備作業及び児童の登下校時見守り立哨を行う。

6 予算額

153,000 円（うち交付金分 153,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	2
活動名	防災・安全安心活動

【収入の部】 (単位：円)

費目	金額	摘要
市交付金	153,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	153,000	

【支出の部】 (単位：円)

費目	金額	摘要
報償費	0	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	153,000	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
	0	〃
	0	〃
計	153,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書1》

報償費

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
計	0	

旅費

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回=15,400円
計	0	

需用費

内 容	金 額	積 算
記入例) 飲料費	8,000	作業用お茶代100円×20人×4回
飲料費	4,000	実行委員会お茶代100円×20人×2回
(通学路草刈り) 草刈り消耗品	16,000	チップソー600円×20枚=12,000円、 混合油(4ℓ)円2,000×2缶=4,000円
飲料費	7,800	作業用お茶代100円×10人×3回=3,000円、バナナ40円×10人×3回=1,200円、パン120円×10人×3回=3,600円、
通学路注意看板設置費	124,300	看板作成設置：1か所×28,050円+7か所×13,750円

《収支予算内訳書2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	153,000	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

《収支予算内訳書3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハンディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。

様式第15号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	3
活動名	高齢者見守り活動

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	自宅にこもりがちな高齢者を訪ねて、安否確認・コミュニケーションをとる。 高齢者の集う活動・会を紹介し、参加を促す。
【効果】	高齢者宅を訪問し、顔を見て世間話をするすることで、状況の把握ができ地域で見守ることができる。

2 実施期間

令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
 (計画期間 年中 年日)

3 実施場所

城見地区（大冨・用之江・城見台・茂平）

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 161 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わる人数： 13 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 148 人（イ）
 ○団体： （団体名） 各4地区の女性会 ， （団体名） 各4地区の福祉委員
 （団体名） 社協城見支部 ， （団体名） 各4地区の栄養委員

5 実施内容

手土産を持ち、自宅にこもりがちな高齢者宅に訪問し、安否確認・世間話をし、見守り活動とする。又、百歳体操・いきいきサロン等を紹介し参加を促す。
 手土産及び訪問頻度は各地区のスタッフのできる範囲内とし、①手作り弁当（若干の料金を頂く） ②手作りお菓子
 ③誰もが使う日用消耗品 とする。

6 予算額

120,000 円（うち交付金分 64,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	3
活動名	高齢者見守り活動

【収入の部】 (単位：円)

費目	金額	摘要
市交付金	64,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	56,000	
用之江利用者負担金	24,000	
用之江自己負担金	32,000	
計	120,000	

【支出の部】 (単位：円)

費目	金額	摘要
報償費	0	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	120,000	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
	0	〃
	0	〃
計	120,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書 1》

報償費

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
計	0	

旅費

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回=15,400円
計	0	

需用費

内 容	金 額	積 算
記入例) 飲料費	8,000	作業用お茶代100円×20人×4回
手作り弁当食材 (用之江)	72,000	300円×20人×12回=72,000
利用者負担金 (用之江)		▲100円×20人×12回=▲24,000
用之江女性会寄付 (用之江)		▲32,000円
手作り団子食材 (大宜)	16,000	200円×40人×2回=16,000
手土産代 (城見台)	16,000	500円×16人×2回=16,000
手土産代 (茂平)	16,000	500円×16人×2回=16,000

《収支予算内訳書2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	120,000	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

《収支予算内訳書3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハン ディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。

様式第15号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	4
活動名	花いっぱい運動

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	地域の道路沿いの花壇や公共施設の花壇に花を植栽し、地区内に潤いを与える。
【効果】	活動を通して、地区内住民同士のつながりが生まれる。 地区内の景観の保持や住環境の改善につながる。

2 実施期間

令和 6 年 6 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
 （計画期間 年中 年目）

3 実施場所

城見地区（大冨・茂平・用之江・城見台）

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 89 人（ア＋イ）
 （内訳）企画運営に関わる人数： 9 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 80 人（イ）
 ○団体： （団体名） 各4地区女性会 ， （団体名）
 （団体名） 各4地区老人会 ， （団体名）

5 実施内容

花いっぱい運動として地区内で花を植栽している団体に対して花苗代を助成する。
 又、助成するだけでなく一緒に活動する。

6 予算額

57,000 円（うち交付金分 57,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	4
活動名	花いっぱい運動

【収入の部】 (単位：円)

費目	金額	摘要
市交付金	57,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	57,000	

【支出の部】 (単位：円)

費目	金額	摘要
報償費	0	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	57,000	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
	0	〃
	0	〃
計	57,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書 1》

報償費

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
計	0	

旅費

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回=15,400円
計	0	

需用費

内 容	金 額	積 算
記入例) 飲料費	8,000	作業用お茶代100円×20人×4回
(すずらん) 花苗・肥料	9,900	パンジー50鉢×55円=2,750、ヒメオドリ80鉢×55円=4,400円 ノースポール10鉢×55円=550円、
市道城見台2号線沿い		葉牡丹(大)10株×110円=1,100円、葉牡丹(小)20株×55円 =1,100円
(百笑会) 花苗・肥料	28,050	パンジー100鉢×55円=5,500円、ヒメオドリ100鉢×55円=5,500円
県道3号線沿い		葉牡丹(大)50株×110円=5,500円、
		サルビア30株×55円=1,650円、マリーゴールド60株×55円=3,300 円、ペチュニア60株×55円=3,300円、
		コリウス30株×55円=1,650円、マラバールティム30株×55円=1,650 円、

《収支予算内訳書2》

需用費

内 容	金 額	積 算
(大宜有遊会) 花 苗	12,760	サルビア30鉢×55円=1,650円、マリーゴールド30鉢×55円=1,650円、日日草30鉢×55円=1,650円、
大宜集会所広場		コリウス10株×55円=550円、トウガラシ10株×55円=550円、
		ハボタン20鉢×55円=1,100円、パンジー55鉢×66円=3,630円
		ヒメオドリコ30株×66円=1,980円
(金浦中学校生) 用之江旧号線沿い花畑	6,000	表示看板1か所×6,000円
計	57,000	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

《収支予算内訳書3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハンディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	5
活動名	大見山登山道整備

1 目的、活動実施により期待される効果

目的	城見地区のランドマークと言える大見山の登山道整備を行い、新年登山イベント及び地区民のリレクレーション・憩いの場とする。 又、イノシシ駆除活動の作業道とする。
効果	4地区有志による合同作業及び新年登山イベントにより、相互交流・コミュニティの広がりができる。 又、安全にイノシシ駆除作業ができる。

2 実施期間

令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
(計画期間 1 年中 1 年目)

3 実施場所

大宮山

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 109 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わる人数： 9 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 100 人（イ）
 ○団体： （団体名） 大見山を愛する会 ， （団体名）
 （団体名） ， （団体名）

5 実施内容

大見山登山道（2ルート）及頂上の草刈り・雑木伐採及び落ち葉清掃。
 新年登山イベントの実施（令和6年1月8日の参加者約70名）
 小学校の郊外活動における児童の登山に同行し見守る。

6 予算額

109,000 円（うち交付金分 109,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	5
活動名	大見山登山道整備

【収入の部】 (単位：円)

費目	金額	摘要
市交付金	109,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	109,000	

【支出の部】 (単位：円)

費目	金額	摘要
報償費	0	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	109,000	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
	0	〃
	0	〃
計	109,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書 2》

需用費

内 容	金 額	積 算
(新年登山) 甘酒	1,200	甘酒3個×400円=1,200円、
カップ麺	11,000	カップ麺100個×110円=11,000円
みかん	7,200	みかん (10kg) 2箱×3,600円
お茶	1,210	インスタントコーヒー1個×300円、スティッシュ [®] -1袋×110円、 ペーパーカップ [®] 4個×200円=800円
計	109,000	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

《収支予算内訳書3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハン ディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。